Wildlife Management Systems Handbook

Wildlife Management Systems Handbook

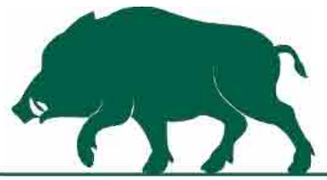
イノシシ被害対策の進め方　捕獲を中心とした先進的な取り組み

平成25年3月　対策手法確立協議会

Wildlife Management Systems Handbook

イノシシ被害対策の進め方

捕獲を中心とした先進的な取り組み



wildboar

平成25年3月
対策手法確立協議会

Wildlife Management Systems Handbook

イノシシ被害対策の進め方

捕獲を中心とした先進的な取り組み

平成25年3月

対策手法確立協議会

はじめに

野生鳥獣による農作物の被害額は全国で毎年約200億円に達しており、中山間地域では農作物被害により営農意欲の減退や耕作放棄地の拡大が全国的に広がっている。

農林水産省では、効果的な被害対策を講ずるため、都道府県、市町村の鳥獣被害対策の行政窓口担当者やJA担当者など技術者指導者向けに、2005年度に被害防止マニュアル作成ワーキンググループにより「野生鳥獣被害防止マニュアル－生態と被害防止対策（基礎編）」が作成・配布された。2006年度から、個別の動物種の農業被害対策を現地で指導する際に、すぐに役立つ実践編として、「イノシシ、シカ、サル―実践編―」など6編のマニュアルが作成された。また2011年度には、地域ぐるみの総合的対策に焦点をあて、野生動物管理システムハンドブック「ニホンザル、ニホンジカの総合的な被害対策のすすめ方」が作成された。

イノシシの農作物被害額は、62億円（農林水産省2011年度）と、被害額は毎年横ばい傾向にある。イノシシの被害対策は、捕獲の担い手の高齢化、耕作放棄や防除の農家個人への依存等により、効果が上がっていない地域が多い中、被害対策の成果が上がっている地域もある。

そこで、イノシシの生息状況調査に基づく被害対策手法の検証や、新たな捕獲体制によって集落ぐるみで捕獲活動等に取り組んでいる地域を対象に、被害防止対策手法の活動内容と成果をとりまとめた「イノシシ被害対策の進め方　捕獲を中心とした先進的な取り組み」を作成した。

第1章は、そもそもイノシシとはどんな動物なのか、小見出しでイメージできるようイノシシの特性を紹介している。

第2章は、現地調査を行った6地区（宮崎県宮崎大学、福岡県添田町、長崎県平戸市・佐世保市・諫早市、千葉県鋸南町、和歌山県日高川町、茨城県石岡市・栃木県那珂川町）の調査内容を、①調査対象地域の概要と特徴、②取り組みの経緯、③対策の内容、④実施体制、⑤成果と課題の5項目に整理して検証を行い、地域ぐるみの被害対策を進める上での参考となるように取りまとめた。

各調査地区の報告内容の冒頭に見開きの図解を掲載した。これは、調査地区の特徴を一目で分かるよう図解し、特徴となる取り組みの内容に容易に行き着くようインデックスを付けてある。

本報告書が、各地域の技術指導者である普及指導員、市町村担当者、JA担当者等の方々に、課題解決の糸口として十分活用され、対策の効果が上げられることを期待する。

対策手法確立検討委員会　委員一同

目 次

Wildlife Management Systems Handbook

第1章 イノシシを知る

構成とねらい —— 02

第1項 イノシシとはどんな生き物か —— 04

第2項 被害の現状 —— 14

第3項 どうすればいいのだろう？ —— 16

第4項 対策のポイント —— 17

第2章 図解 現地調査内容の早わかり —— 22

宮崎県宮崎大学 —— 34

目的および調査対象地域の特徴
調査方法、調査内容・調査結果

福岡県添田町 —— 42

調査対象地域の概要と特徴
取り組みの経緯
対策の内容
実施隊の活動内容
成果と課題

長崎県 —— 53

調査対象地域の概要と特徴
取り組みの経緯
対策の内容
実施体制
成果と課題

千葉県鋸南町 —— 64

調査対象地域の概要と特徴
取り組みの経緯
対策の内容
実施体制
成果

和歌山県日高川町 —— 69

調査対象地域の概要と特徴
日高川町における獣害対策取り組みの経緯
「環境警備隊」の活動
実施体制
成果と課題

茨城県石岡市・栃木県那珂川町 —— 82

調査対象地域の概要と特徴
取り組み経緯
対策の内容と実施体制
成果
今後の課題と対策

おわりに —— 99

イノシシを知る

第1章

Wildlife Management Systems Handbook

- 構成・ねらい
- イノシシとはどんな生き物か ［ 第1項 ］
- 被害の現状 ［ 第2項 ］
- どうすればいいのだろう？ ［ 第3項 ］
- 対策のポイント ［ 第4項 ］